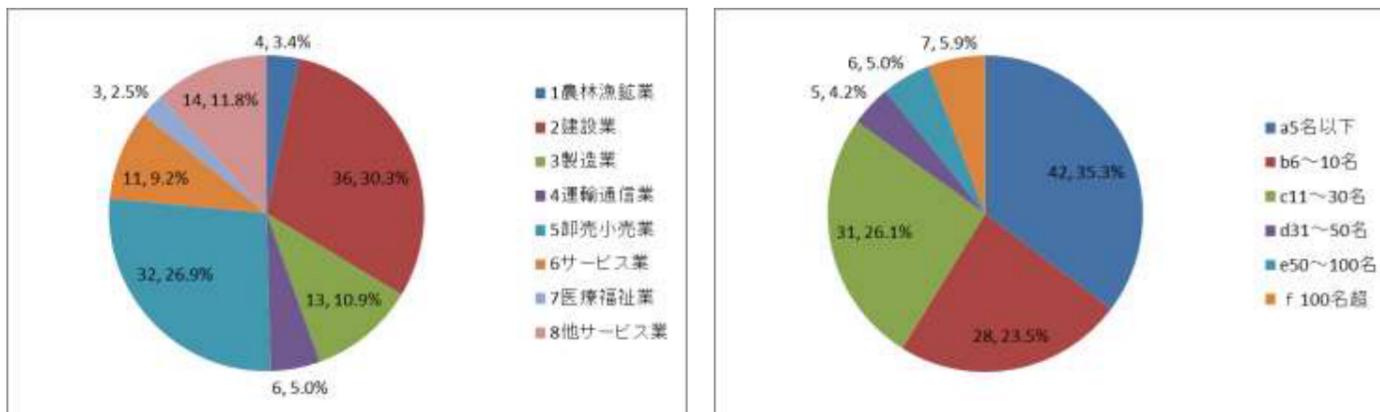


平成28年度 への版地域産業高度化に関わるアンケート調査結果（ダイジェスト）

二戸商工会と二戸市は、平成28年2月～3月に二戸市内の主要企業を対象としたアンケート調査を実施しました。お忙しいところご協力をいただきました企業の皆様には深く感謝いたします。調査結果につきまして、概要をお知らせします。（実施主体・委託先：（株）東京商工リサーチ盛岡支店）

1. 回答いただいた企業の業種と従業員規模



2. 主業種と従業種

企業ごとに取組状況は異なりますが、多くの企業が本業以外の新たな事業に取り組んでいることがわかりました。科学技術の進歩や社会情勢の変化で、売れる商品や需要の高いサービスは常に変化します。主力の事業が行き詰まった時、事業を維持する意味でも、リスクの少ない範囲で新たなビジネスに取り組むことは大切と考えられます。

3. 取引先の状況

取引先についても企業ごとに状況は異なりますが、多くの企業が二戸市外の全国・海外に向けて販路を拡大していることがわかりました。平均年齢の上昇や若年労働者の流出などを原因として、ローカル地域の人口や企業数は頭打ち傾向となっています。二戸市外から県外、関東地域から全国に向けて販路を拡大することが重要です。そのためにも、競合するライバルに勝てるだけの人材や技術力などについて、強化することが重要と言えます。

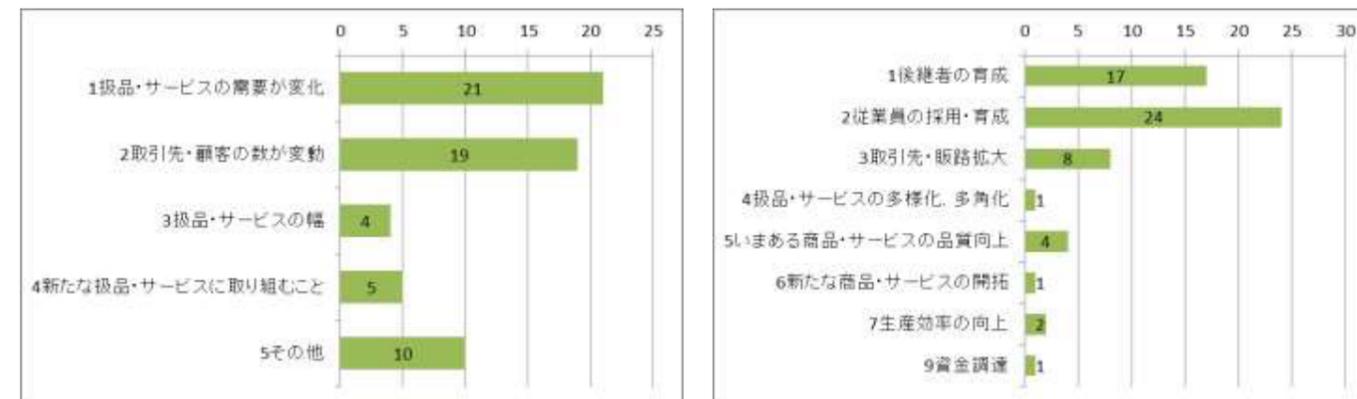
4. 業績推移と見通し

業界全体の業績動向については、多くの企業がこれまでより現在、現在より将来に向けて売上が減少していくと回答しました。特に将来見通しについては、63%の企業が減少と回答しています。自社の業績についても、将来に向けて業況が後退していくと回答した企業が多くなりましたが、減少すると回答した企業の割合は業界全体より低い値となりました。自社の見通しが減少と回答した企業は49.2%となっています。



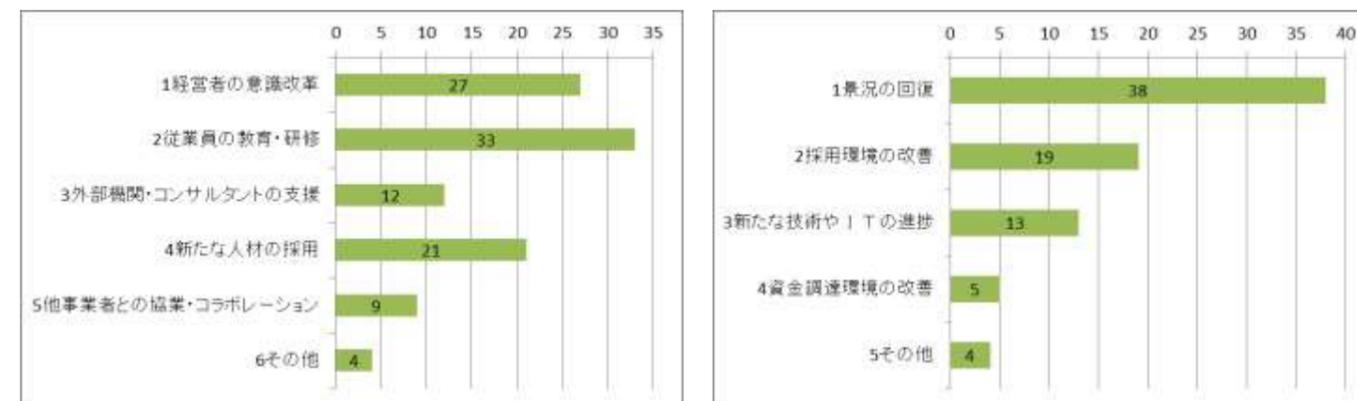
5. 業績変動の原因と経営課題

業績変動の要因については、扱品やサービスの需要が変化しているからと回答した企業が最も多く21社となりました。取引先や顧客の数が変動すると回答した企業も10社に上り、業種や取引先範囲の拡大が重要と考える企業が多いことがわかりました。一方その対策として何を重視するかという質問に対しては、従業員の採用・育成と回答した企業が24社と最も多く、後継者の育成と回答した企業が17社となりました。



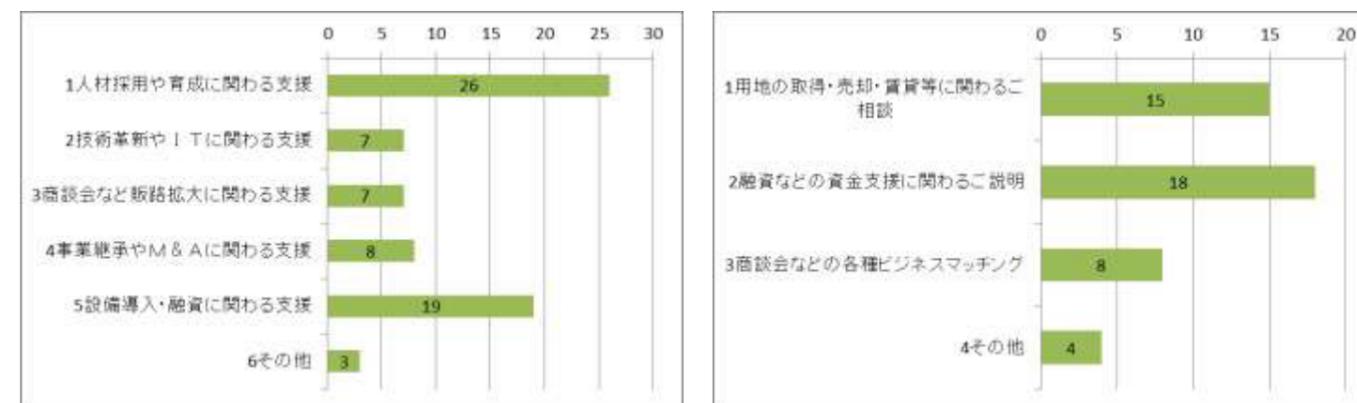
6. 経営課題に対する具体策と環境への期待

5で聞いた業績変動に対する対策としては、従業員の教育・研究と回答した企業が最も多く33社。地で経営者の意識改革27社、新たな人材の採用が21社となりました。また、期待される環境、外的要因については景況の回復を期待すると回答した企業が最も多く38社となり、採用状況の改善が19社となっています。



7. 商工会・市役所に対して期待すること

商工会に対しては、人材採用や育成に関わる支援を期待すると回答した企業が最も多く26社。設備導入・融資に関わる支援と回答した企業が19社となりました。市役所については、融資など資金支援に関わる説明を求める企業が18社で最多となり、用地の取得・売却・賃貸に関わる相談と回答した企業が15社となりました。



以上アンケート結果を踏まえて、二戸市商工会と市役所協力して地域産業の高度化に取り組んで参ります。引き続き皆様のご理解とご協力を賜りたく、よろしくお願いたします。